

演奏活動五十周年を迎えて

巨匠カザルスの高弟であり、日本を代表するチェリストのひとりである平井丈一朗さんが演奏活動五十周年を記念してご子息お二人と共にコンサートを行なう。演奏する楽曲の思い出、カザルスの思い出などを語っていただいた。チェリスト

平井丈一朗さん



カザルスは演奏はしなかつたけれど指揮を……

先月号で元・東京交響楽団打楽器奏者の芹澤英雄さんが、カザルス指揮、平井さんのソロで「ドボコン」を一緒に演奏したことを語っていましたが、急なカザルスの来日の経緯が分からなくて、しかも正確な年がよく分からない。「ああ、それは懐かしいですね。私がカザルス先生の指揮で東京交響楽団と共演したのは昭和三十六年のことです。」

カザルス先生とは、当時五年間、世界中を旅しました。その頃のカザルス先生の本拠地は、中央アメリカのプエルトリコでした。

Takeichiro Hirai
巨匠カザルスの高弟。作曲家平井康三郎の長男として生まれ、小学校時代、すでにピアノ協奏曲約100曲を生み出し、作曲も行う。桐朋学園ではチェロを齋藤雄氏に師事。第23回音楽コンクール第1位特賞。第1回カザルス国際コンクール特別賞他、数多くのコンクールで受賞。1957年より5年間、カザルスに師事。師とともに欧米各地を楽旅しつつ研鑽を積む。1961年、カザルスと共に帰国。東京と京都で四大協奏曲を演奏。以来、ソリストとしての活動は全世界40カ国に及び。

演奏活動50周年記念
平井丈一朗チェロ・コンサート
指揮：平井秀明 ピアノ：平井元喜
管弦楽：ゴールデン・ジュブリー・オーケストラ。
7月21日(木)7時 紀尾井ホール
曲目：バック/無伴奏チェロ組曲第1番ト長調、ドヴォルザーク/チェロ協奏曲Op.104、シューマン/チェロ協奏曲Op.129、平井丈一朗/チェロとピアノと管弦楽のための詩曲「カタロニア」の思い出(初演)
指席 ¥7,000 自由席 ¥5,000
詳細：インターミュージック・トーキョウ TEL.03-3475-6870

戦前から、日本では、いろんな新聞社や放送局などがカザルス先生を招聘しようとして、いろいろコンタクトをとっていたのですが、日本は、スペインのフランコ政権を承認している国だったので、日本へは絶対に行かない、とカザルス先生はおっしゃっていたんです。ところが、私のデビューのためなら自分と一緒に行って指揮をしましょう、と言われて、それで日本にいらしたんです。」

「その時のプログラムに断わり書きが書いてあるのですが、『自分の演奏旅行で来たのではない、あくまで平井に花を添えるために来た……』と。」

カザルス先生はその頃、私を長く指導してくださって、初めて後継者を見つけた、ということ、そのことをニューヨークの記者会見で言われたんですね。

「その頃のプログラムに断わり書きが書いてあるのですが、『自分の演奏旅行で来たのではない、あくまで平井に花を添えるために来た……』と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」

「もちろん、音楽全般についての凄く影響を受けました。それと同時に人間的な面でも教えられたことがたくさんありました。本気でカザルスは音楽の神様、という感じですね。カザルスの前に出ると、スターンもオイストラフもまるで子供のように見えた、と言いました。圧倒されてしまいました。そのくらい、中味が溢れ出ると言いますか、あまりにも内容が深く豊かなので、それが外に発散している、という感じですね。」

「ええ、確かに小柄でした。日本人と比較しても小柄な方でしょうね。でも本当に体の大きさをなんて関係ないですね。芸術家としての偉大さ、人間としての偉大さというものはとてつもないものがあります。」

「本人はほとんど意識されてはいないと思いますが、彼に直接会って、お話ししたりすると、内に秘めたものがあまりに大きい、ということが分かりますね。真の芸術家ですね。」

カザルスは、平井さんを後継者として……と。」

カザルスは、平井さんを後継者として……と。」

カザルスは、平井さんを後継者として……と。」

カザルスは、平井さんを後継者として……と。」

カザルスは、平井さんを後継者として……と。」

カザルスは、平井さんを後継者として……と。」

カザルスは、平井さんを後継者として……と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」

カザルス先生は、私が、私の祖国である日本から世界へ羽ばたいた……と。」